

CHOHUO

広報誌【長報:チョーホー】

Vol. **27**

2009 April Spring

Since 2002



特集

対談 新たな時代を切り拓く“教育”



志と覇気にあふれた若者が集う大学

長崎大学長 **片峰 茂**
Katamine Shigeru

平成21年春、長崎大学に1,700名の新しい仲間たちがかわりました。大歓迎です。私は昨年秋の学長就任に際して、大目標の一つとして、「志と覇気にあふれた若者が集う大学」を実現することを掲げました。大学は、さまざまな出会いを提供し、若者が夢や志を育むことのできる場であるべきだからです。いま世界は歴史的な変革の時代に突入しようとしています。地球と人類の未来は、無限の可能性を秘めた若者たちにかかっています。学生諸君には、大学生活を通して、多くのことを学び、社会に対する眼を醸成し、志を立て、将来の夢実現に向けてそれぞれのやり方で準備し蓄積してほしいものです。長崎大学はそのことを最大限に支援します。

平成二十一年 卯月

| CONTENTS |

【特集/対談】 新たな時代を切り拓く“教育、	1
【人クローズアップ】 医学部 池田正行教授	7
【Campus Map / 長大生のための生活掲示板】	10
【経済シリーズ】 経済・社会のグローバル化を覗いてみよう！ ファースト・グローバル化と東ティモール	12
【長崎県の近代化遺産シリーズ1】 外国人居留地と長崎県のキリスト教関連遺産	15
【長大ニュース】	18
【ボードイン・コレクション】 幕末・明治を知る西洋の男たち 礼装のボードイン博士	20
【インフォメーション】・【編集後記】	21

新たな時代を切り拓く “教育”

好奇心あふれる表情で、

キャンパスを縦横無尽に歩き回る

新入生の姿は、大学の春の風物詩。

期待に胸を膨らませた彼らに

長崎大学はどのような教育を行うのでしょうか。

そもそも、大学における教育とは、

どうあるべきものなのでしょうか。

長崎県教育委員会の教育長である寺田隆士氏と

片峰学長に語っていただきました。





長崎大学長 片峰 茂

Katamine Shigeru

1976年長崎大学医学部卒業後、東北大学大学院医学研究科博士課程修了。医学博士。米国国立癌研究所国際研究員、長崎大学医学部教授、2002年より長崎大学医歯薬学総合研究科教授。専門はウイルス学(特にプリオン)。2005年より長崎大学国際連携研究戦略本部長、同大学学長特別補佐、2007年より(独)日本学術振興会学術シテム研究センター主任研究員の兼務を経て、2008年より現職。

司会・進行

工学部教授
原田哲夫
(本誌編集長)



はじめに、最近の大学生の印象について伺いたいと思います。

寺田 大学を拠点にボランティアや部活動などで積極的に街中へ出て、活動の場を広げているようです。その点は私たちの学生時代と違ってすばらしいと思っています。

一方、少々どうしたものと感じているのは、学生が近況報告に高校の恩師を訪ねて来たとき、かつては、大学でやっている学問や研究について熱く話す人が多かったのですが、いまは本当に少なくなりました。また、私が学生の頃は、「学問や研究を通じて、わが国、あるいは人類に対して何か貢献できるようになるぞ」というような「志」を抱いていましたが、そういうものもあまり感じられませんか。

片峰 それがいまの若者たちの気質なのか、それとも大学の責任なのか、その判断は難しいところではあります。私は多分に大学の責任もあるのではないかと考えています。と、いつの間、入学式のと、新入生たちの目は輝いていますが、半年そして1年と経つにつれ、どこか生気のなさを学生が増えてくるのです。その原因を大学は分析し、反省すべきは反省

し、改善していく必要があります。おっしゃる通りに大学は、「志」を立てる場所であるべきで、その環境を提供しなければなりません。それは、たいへんな難問ではあるのですが…。



「志」への扉を開く、 学生と教員の出会い

片峰 大学が「志」を立てる場所であるといつこと、もっとも大きな影響を与えるのが、教員との出会いです。私が学長就任以来、機会あることに言っていること

ですが、「志」と覇気にあふれる学生を育てるためには、まず、教員の「志」が高くなければいけません。たとえば、世界に誇るような研究をするとか、他にはない教育を行うなど、教育者、研究者として高い「志」を持った教員たちを長崎大学に集めていきたい。そういった教員との出会いに触発されて、学生たちが「志」を立てていく。そう、あるべきなのです。

寺田 大学が抱える問題もあるので、しょうが、それ以上に小・中・高校の教育の問題も大きい。私は、いまの日本の若者に対し、「志」の高い人が少ない。品性が低下している。学習意欲と学力が低下している、という3つについて大きな懸念を抱いています。特に、については心の教育と言われていますが、その中心に「志」の教育が必要だと考えています。

「志」への扉を開く、 子どもの「憧れ」を育み、 「志」へつなげる

寺田 私は「憧れ」という言葉がたいへん好きでして、漢字では心を意味する「忄」に、少年少女を意味する「童」と書きまします。つまり、少年少女の心の本質は「憧れ」で、それは、まだ見ぬ遙かなるものへの思い、あるいは、将来の自分への思いだと私は解釈しています。「こ」で重要なのはその「憧れ」が、やがては「志」へと変わるということなのです。つまり、「憧れ」を育てること

長崎県教育委員会 教育長 寺田 隆士

Terada Takashi

1970年東京大学文学部卒業後、長崎県の高校教員になる。専門科目は倫理、日本史。五島南高校、口加高校を経て、県教育庁教職員課に勤務。その後、諫早高校教頭、県教育庁学校教育課参事および総務課参事、島原高校校長、長崎県教育センター所長、長崎東高校校長を経て、2008年4月から現職。2006年から2年間、長崎大学経営協議会委員も務めている。



が、教育の中心いわば本丸だと思うので

す。
実は「憧れ」を初等・中等教育で育み、高等教育へつなぐという考えを取り入れた事業を、長崎県教育委員会では今年度からスタートさせました。その中でポイントになるのが、片峰学長があつしやった「出会い」です。具体的には、「志」を持って活動している人に会って話を聞く、あるいは伝記などを通して偉業を成し遂げた人の生き方に触れる、そういう「出会い」の場を創っていくことになっていこう。

また、そのような突出した人物との出会いはもちろんですが、その前に、子どもたちの身近にいる親や教員たちが自らの「憧れ」を積極的に語ることから始めていきた。

大学の先生方にも、ぜひ、ご自身の「憧れ」や「志」をしっかりと学生たちに伝えてほしいですね。

片峰 そうなんです。教員自身が、そういう「憧れ」や「志」を持っていないと学生たちには伝えられません。ここはとても大切なところで、アメリカのオバマ大統領ではありませんが、やはり「Change」が、ひとつのキーワードだと思っています。

いま、時代は百年に一度の経済不況という見方もあれば、日本では幕末以来の大変革の時代だという見方もあります。いずれにしても世界的に大きな変わり目なのです。まずは、そういう時代の真只

中にあることをきちんと認識しなければなりません。日本の社会は、変えることに對して臆病になっていますが、長崎大学の教員は勇気を出し、率先してシステムやものを変えていく。そういう姿勢が何より、学生たちにいい影響を与えるのではないのでしょうか。



下村脩先生の偉業は、 学生や教員の財産

片峰 昨年、長崎大学薬学部出身の下村脩先生が、ノーベル賞を受賞されました。かつて、下村先生がこのキャンパスで日夜研究に勤しんでおられたことをイメージできることは、教員や学生たちにとってたいへん大きな財産なのです。ノーベル賞

の存在も雲の上にあつたものが、ぐんと身近に感じた人もいるでしょう。下村先生の偉業は、長崎大学の「志」を立てる環境のひとつとして新たに加わったともいえます。

寺田 ええ、後輩たちの「志」は格段に高まったところでしょう。

片峰 また、視点を変えたところでは、長崎は幕末、時代を変えようという「志」に燃えた若者たちが集つた街ですが、この地で坂本龍馬が新しい日本の姿を描いた福沢諭吉が学んだ、といったことは、「志」を立てるためのイメージ的な環境の素地があるといえます。ぜひ、それも活かしていきた。

「人類のため」が、 自分の幸福につながる

寺田 片峰学長は、「人類のために何ができるかを考えることが、大学のスタンズ」(本誌25号参照)とおっしゃっていましたが、私はこの言葉にたいへん感動しました。自分にとっての幸福は何かと考えたとき、結局、他の人の役に立ったという思いを抱くときが幸福なのですね。つまり、「人類のため」が、自分の幸福につながる。それを現実に導くことが最高の教育なのだろうと思います。私自身も、高校の卒業生などから記念にひとこと書いてくだ



さいと頼まれると、「人の笑顔を見て喜ぶ習性がある私たち人類は、他の人の幸福に役立つことを自らの幸福とする、そういう遺伝子があるはずだ」と書いているのです。

片峰 確かに、そうですね。それがなかったら、人類はここまで来ていなかったでしょう。他の人の幸福の役に立つことを自らの幸福とする、「その道、方法はいろいろありますね。たとえば、医師や看護師のように直接的に人の役に立つというやり方、また、社会のシステムを変えるアイデアで役に立つ、あるいは、新しい発見や発明で幸せにする」といった道もあります。どの道を選ぶかは、個人の方向性、「志」によって変わります。学生たちが大学に在る間に、その方向をつかみとってくれたら本望です。

「教えて、考えさせる」 教育への転換

片峰 社会に出て必須になる能力はやはり、問題解決能力だと思いますが、それを大学の4年間で養うのはたいへんなことです。やはり、小・中・高・大という流れの中で、時間をかけて養うべきではないでしょうか。

寺田 そうですね。問題解決能力を育てるといっても、まず、子どもがめざす

教育は、子どももの思考力・判断力・表現力・創造力を育てていきたいと思います。その一つは、身につけた力を育むときの材料や道具になるのが、「知識」なのですが、今の風潮である「知育偏重」や「知識詰め込み」などへの批判から、「知識」の習得が悪者にされ、「知識」はいらぬから、自分で考えて判断しなさい、表現しなさいという、つまり、「教えないで、考えさせましょ



う」という発想の授業が行われました。しかし、それでは、なかなか子どもたちは伸びず、むしろ、逆効果であったように感じています。

そこで、いま、「教えて、考えさせる」授業への転換を働きかけているところです。この「教えて、考えさせる」というのは、東京大学教育学部の市川伸一氏の言葉なのですが、これが子どもの課題のひとつで

あります。

それと、実は考える力を伸ばす手法と一つのは、「実験・観察・調査・研究・発表・討論」という、大学で昔から取り入れられているすばらしい手法があるのです。初等、中等、高等教育のそれぞれの段階において、この手法を指導できるようにする必要があります。

諸学の「カタ」を 伝える教養教育へ

教養教育についてのご意見をお聞かせください。

片峰 教養教育は、問題解決能力や自立心、あるいは社会に出て仕事ができ、とできる人間を育むために必要なわけですが、実は私は、「大学における教養教育とは何だぞっ」と長年、疑問に思っていました。そして昨年、ようやくその答えとなるようなお話を伺うことができました。

それは、昨年秋季の学長就任に伴い、当時、私が兼務していた日本学術振興会学術システム研究センターの主任研究員を退任するときのことです。私は、副所長の石井紫郎博士のところに「あいつ」に伺いました。ちなみに石井博士は、法学・法システムの大権威で、日本の学術全般に大きな影響を及ぼす論客のひとりです。私は、石井博士に率直に自分の疑問をぶつ



けました。大学で教えるべき教養とは何でしょうか」と。すると、それは「カタ(型)です」という答えが返ってきました。石井博士は、踊りや空手に「カタ」があるように、諸学にも「カタ」があるということです。

ここでいう「カタ」は、スタイルや方法論というよりは、センス、哲学のセンス、文学のセンスなどといった方が近いかもしれません。たとえば、中学や高校までの歴史は知識を教えればいいが、大学では歴史学の「カタ」を教えなければならぬということ。それはつまり、無尽蔵の歴史的事象の中から、記述すべきものを抽出し、分析するためのセンス・手法といったところでしょいか。ほかの分野にももちろん「カタ」があるといえます。なるほど、「カタ」さえ会得すれば、後は、当人の努力でいかようにも教養を深めることができるというものです。

長崎大学の場合、全学教育という教養教育を行っていますね。

片峰 長崎大学は、旧制高校の伝統が流れる独自の成り立ちから、文学部や理学部といった教養教育のコアになる学部がありません。そこで、教養教育は全学の教員が担当して、それぞれの得意の中で全学の学生に教えていく、全学教育を行っています。そろそろ成果について総括し、改善を図る時期にあると考えていま

す。学生たちには、教養の真髄に触れてもらうために、やはり「カタ」に通じた諸学の達人(プロ)に学んでほしい。そのため教員組織をどうするか、いまの私の課題のひとつです。

寺田 私自身は、先生方が総がかりで取り組む全学教育はとてすばらしいシステムだと思っています。小・中学校の教



員も参加して学ばせてもらい、小学校バージョン、中学校バージョンをつくるのもいいかもしれません。

科学の力、新たな知恵で、危機を乗り越える

片峰 いま、世界的な経済危機にあり、また、地球環境の問題など本当にたいへん

な時代に向かっていると思います。

寺田 ええ。そういう意味では私たちは非常に幸せな世代でした。生まれたときは何もなかったけれど、それが当たり前で、ちと不自由だとは思いませんでした。そして、年を追うごとに生活が豊かになる中、科学の力で世の中がどんどんいい方向へ進歩していくのだという思いを抱いて、少年時代を過ごし、そして、高度成長期に青年時代を過ごしました。

いま、科学が引き起こしたいろいろな問題がありますが、結局、それを解決できるのもやはり科学だと、私は強く思います。

片峰 そつですね。人間は引き返せないと思いますし、ならば、この危機的な状況も新たな知恵で解決していくしかありません。そういう意味で、大学などの教育・研究組織や機関の役割は、たいへん大きく、今後どういつ成果を出していくか、あるいは、どういつ人材を輩出していくか、ますます重要性が増していくことでしょう。

専門教育、大学院教育がめざすべきもの

各学部における専門教育、大学院教育は、どうあるべきでしょうか。

片峰 それぞれの専門教育を通して、学

生に何らかの付加価値をきちんと与えて社会へ送り出す、これは基本的な「コンセプト」です。たとえば長崎大学工学部の学科の卒業生は、「こういうものを必ず持つ」ということを、社会や企業にきちんと認知してもらえらるような人材を輩出するということ。そして、専門的な職業人として信頼できる人材、新たにいろいろな創造ができるような人材を育てなければなりません。

また、地域のことだけでなく世界の状況を把握し、その中で、自分の立ち位置や将来的に何ができるかということを、常に問題意識として考えることのできるような人材を育てたいですね。そして、その考えや思いを実現する力も育てる。そのために、先ほどの教養教育にもとづいて、まず、「コミュニケーション能力が必須」です。英語力も含めて。そういう力を長崎大学の学生にどう身に付けてもらうか、これは、近々の大きな課題のひとつです。同時に、広い意味での教養も必要です。海外に出たとき、世界の一般的な教養について語れない、日本の文化も語れないでは通用しませんから。

寺田 そのために、私どもの長崎県教育委員会はあります(笑)。1つは国語力による「コミュニケーション能力を付けること」。2つ目は数字を使って考える力、理論的な思考力を算数、数学を通じて鍛えていく。数学はおそらく科学の言葉でしよ

から、いろいろな現象を数理的に処理して考えていくという能力も。3つ目は国際的な視野を育むために、世界史の教育が大切だと思っています。

また、できれば、高校生までのうちに1度、海外を経験させたい。2〜3日でも、また修学旅行でもいいから。外国の地に実際に自分の足で立ち、住人と実際に出会ってみる。そういった経験は、何ごとも国際的に協力して進めていくこれからの時代にとって、たいへん大切なことです。

片峰 人材育成において、繰り返しますが、教員の責任はものすごく大きいのです。一方でいまの大学の教員は、社会から大学内部からさまざまな役割を求められ、とにかく多忙です。少し余裕を持たせ、本来の教育・研究に勤しむ時間を取り戻すようにしていきたい。状況は厳しいですが、いろいろな手を打っていきます。

世の中を変えていく 主体となる人材を育てる

寺田 今後の展望について、どうお考えですか？

寺田 私たちは地域の共同体の良さを十分知っている世代です。昔の子どもたちは、親よりも近所の方々に見守られ、しつけられながら育ちました。失ってしまつた地域の共同体を、いまこそ新たに築く必

要があると感じています。そうすれば現在、起きている教育の問題の大部分が解決するのではないかと考えています。私はこれから「隠居さん」と呼ばれる身分になります。かつて、「こ隠居さん」はその地域の精神的な拠りどころでした。団塊世代がこれから、それぞれの地域でその役割を果たしていく必要があるのではないかと、最近考えるようになりましたね。

片峰 私たちはこれまで良くも悪くも世の中に大きな影響を与えてきた世代です。学生の頃は、世の中の価値観も確定していない時代でしたから、我々が社会を変えていけると思って、学園紛争などもやったわけですが、後から振り返ると、あの頃の変えていけるといふ思いは錯覚だったと言えます。若かった我々の思いとは違つところで、世の中はきちんと動いていたのです。しかし、今度は錯覚ではなく、本当に何かを変えなければいけない時期が来つたあると感じています。これから私たちの世代は、変えていく主体となる人材を育てなければなりません。これは、本当に果たさなければならぬ重要な役割なのです。

寺田 教育長を学長室にお招きして行われた今回の対談は、2時間にも及び、盛んに意見が交わされました。今回はその一部をご紹介させていただきます。



コンセプトは、**“亀山社中”**。 長崎は創薬に ふさわしい街です。

長崎大学医学部で「創薬」に取り組み多忙な日々を送っている池田先生は、医師、研究者、評論家など、医療分野で多彩な才能を発揮している方。広い見識と鋭い洞察力で、サラリとものごとの本質を言いあてます。そんな先生の魅力を、「創薬」に関するお話などを通してご紹介します。

長崎大学医学部 創薬科学

池田 正行 教授

Ikeda Masayuki

プロフィール

1956年、東京生まれ。1982年東京医科歯科大学卒業後、培養神経細胞の基礎研究者をはじめ内科一般臨床医、病理解剖医など、さまざまな職場を経験。2003年から4年間、医薬品医療機器総合機構で新薬を承認するための業務を担当。また、BSE評論家、知的障害・精神障害のソーシャルワーカーとしての顔も持つ。2008年10月から現職。内科専門医、アメリカ内科学会会員、神経内科専門医。自身のホームページでは医療問題について鋭い論評を展開している。
<http://square.umin.ac.jp/massie-tmd>

多くの人のつながりで成り立つ「創薬」

「創薬」という言葉は、一般には聞き慣れないものですが、その意味は文字通り「薬を創り出すこと」。そして池田先生のお仕事は、薬を創り出して、必要な人へ届けること、だと言います。「ひとつの新しい薬が世に出るために、たいへん多くの人々が関わっていることは、あまり知られていません。たとえば、薬のアイデアを出す人、研究室で薬を創る人、研究に必要な道具や機材を提供する人。そうしてできた薬は、治験（臨床試験）を通じて、何千人という被験者の協力を得てその効果や安全性が確かめられます。このとき、治験を行う病院などでは、看護師、薬剤師、臨床検査技師など多くの医療従事者が、被験者のサポートにあたります」。さらには、治験で出た結果を吟味する人、薬を製造して世に送り出す人など、いろいろな人と人のつながりから薬は生まれているのです。つまりネットワークと「ミニケーション」がうまく機能しなければならぬわけです。

「創薬」の全体像を見渡す希少な存在

池田先生はかつて、厚生労働省の機関であるPMDA（医薬品医療機器総合機構）の役人として、新薬承認審査を行う立場にありました。当時の業務は、膨

大かつこまごまとした治験のデータをみながら、その薬はどんな病気のどんな状態にある患者さんに、どれくらい用量をいじったらいいか、といったことを一つひとつ詰めていくという、ものすごくたいへんな作業でした。医事・薬事・行政をふんだ形で仕事が行われるPMDAでの豊富な経験を持つ池田先生は、治験の成り立ちなども十分理解し、「創薬」の全体像を見渡せる希少な存在です。その経験とノウハウは、2008年度のグローバルCOEに採択された本学の「熱帯病・新興感染症の地球規模統合制御戦略」本誌26号で紹介（の医薬品開発分野で、大いに活かされようとしています）。

1 PMDA

Pharmaceuticals and Medical Devices Agency の略、厚生省関連の独立行政法人。医薬品医療機器などの審査及び安全対策、並びに健康被害救済の業務を通して、日本、そして全世界の保健の向上をめざす機関。

活動のコンセプトは「亀山社中」

現在、大学内の各部署をはじめ病院、製薬会社、関係省庁などへ頻繁に出向き、学内外のネットワーク形成に力を注いでいる池田先生。

「ミニ」創薬のネットワーク、「ミニ」二テーションは、関わる人の膨大さと内容の煩雑さから、そのイメージは漠然としてとらえにくいものがあります。それをひとことと言うとしたら「シンクタンク」で



長崎大学の治験管理センターのスタッフルーム。
CRC Clinical Research Coordinator: 治験コーディネーター たちが治験の被験者をサポートし、新薬の誕生を支えています。

[治験とは?]

新しい薬の効果と安全を十分に確かめるために行われる臨床試験のことです。薬の効き目や副作用、効果的な使い方について、第 Ⅰ相(患者さんでなく健康な人の協力を得て調べる)、第 Ⅱ相(100人くらいまでの患者さんの協力を得て調べる)、第 Ⅲ相(数百人から数千人の患者さんの協力を得て調べる)の3段階に分けて、慎重に調査が進められます。

病院では安心して治験に参加してもらうために、治験コーディネーターが在籍し、被験者のさまざまな相談に応じています。



「僕がいまやっていることは、表看板は薬という『モノづくり』ですが、その本体は『人材育成』です。」



「コミュニケーションとネットワークというとき、言語化されたメッセージだけをとらえがちだけど、実は非言語性のメッセージが非常に重要。だから、僕は実際に会って話することに重きを置きます。」

すね。実際は、大学にも製薬会社にも立派な箱モノがありますが、事業自体は特定の空間や箱モノに規定されない活動でもあります。」

そして、その活動をわかりやすく言語化するならば、亀山社中、だと言います。幕末、坂本龍馬が新時代の到来を予感し、長崎で結成した日本初の総合商社で、風雲児・龍馬を象徴する言葉のひとつです。あのとき、龍馬がやったことはネットワーク形成で、カタチあるもので偉業を成し遂げたわけではありません。そういう目に見えないつながりを意味する「亀山社中」をコンセプトにした「創薬」の活動というのは、たぶん他にはないと思います。」

また、池田先生は、長崎は、創薬にふさわしい歴史的・文化的背景があると言います。「龍馬にしても、グラバーにしても、何の縁もゆかりもなかったこの街で、ネットワークを組み立てて時代を動かしました。長崎にはよそ者が来て、自由なことをやらせてもらえる、そういう風土があります。それは、大きな魅力です。さらに、長崎大学には熱帯医学研究所があり、日本はもとより、海外にも広くネットワークを持つています。治験では、日本国内にない病気の薬を扱う場合や、国内で被験者が足りない場合など、海外の人にも協力してもらう場面がありますから、そのネットワークが使えるというのは重要なことなのです。」



専門を聞かれるのが嫌いな「あまのじゃく」

自ら「あまのじゃく」と称する池田先生に、医師としての専門を問うと、「特にありません」という答えが返ってきました。そうやってリッテルを貼るのは、カッパルイことだと思っているそうです。実際、池田先生はこれまで神経内科医、家庭医、基礎医学の研究者、病理解剖医などとしてさまざまな職場を経験しており、また知的障害・精神障害専門ソーシャルワーカー、BSEや薬事に関する評論家など、ひとつの専門には収まらないさまざまな側面を持っています。

それにしても、新しい環境や新しい分野に挑む際のモチベーションは何だったのでしょうか。「人への好奇心ですね。人間」という抽象的なものではなく、もっと身近な人々に対しての。あの人は何を考えているのか、なぜ、ああいう行動をするのか、といった好奇心が常に自分の底流にあると思います。」



広告の仕事に就きたかった高校時代

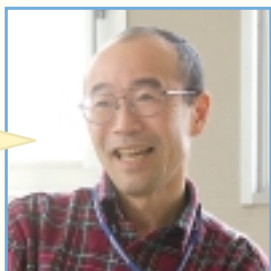
医師免許を自在に操るようになり多彩な活動をしてきた池田先生ですが、高校生の頃は、医者になる気は全くなかったそうです。「当時から僕は人の行動とかコミュニケーションに興味があり、広告・宣伝の仕事に就きたいと思っていました。医者



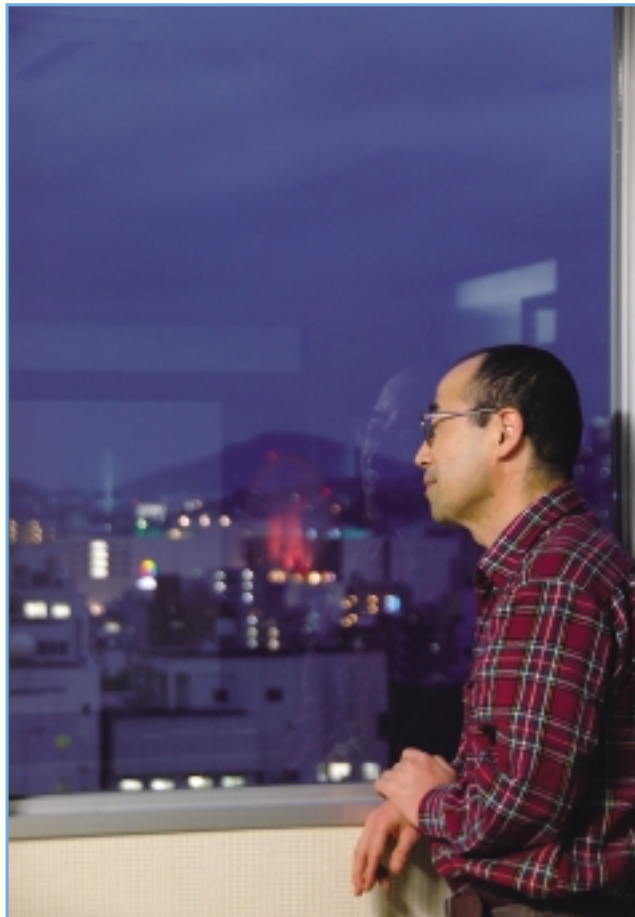
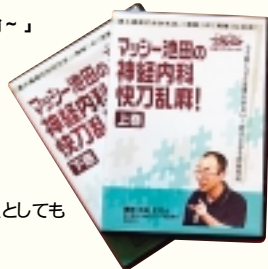
学生には普段から気軽に声をかけ雑談を楽しんでいる。この日のテーマは「非言語性コミュニケーションが得意な女性」について。刺激的で面白い話が次々に。



最近の愛読書
「こんな日本でよかったね〜構造主義的日本論〜」
(内田樹 著/バジロコ)



実は、神経内科医としても有名な先生です。



教授室の窓から、長崎の夜景を眺める池田先生。
「長崎には、人々が幸せに暮らしていけるノウハウがあるよね。」

池田先生は、長崎に来てまだほんの数カ月。この街や人々の印象について、「長崎は善男善女が多い。お人好し過ぎて、ずいぶん損をしていると思います。地元だけでやっている分には、それで完結できるのかもしれませんが、外ともネットワークを組まなければならぬ場合、ときにジレンマがあります。一方で、「このせち辛い世の中で、お金や地位といった見せかけの幸せではなく、本当に人々が気持ち良く生活している社会が長崎にはあると感じています」とも。池田先生は、そうした長崎の土地柄、人柄をそのまま活かし、外に対して変化を求める方法もあり、その方が効率的だと考えています。「いつも通用

長崎の土地柄、人柄を活かす

については、命を扱う恐ろしい仕事で自分にはできないと思っていました。」
当時、池田先生が思い描いていた将来像は、かなり具体的です。「広告で人を動かすために、まず、大学の研究室で人間の行動を電子計算機を使って解析し研究する。その研究成果を大手広告代理店に就職して応用する。そこで経験を積んだ後、内閣広報室みたいなところに入って世論を動かす仕事をしたいなあと思っていました」。それが、試しに受験した医学部に受かったことから医師の道へ進むことに広告とは全く分野は違うものの、人とコミュニケーションする仕事という点では変わりはないようです。

「ここまで、軽快にインタビューに応じてくださった池田先生ですが、読者である高校生に向けてメッセージをお願いしますという、事前にまとめておいたというメモをやら取り出して読み上げました。「私の言うことを100%信用しないでください。そして100%否定しないでください。どこかの誰かが100%正しい答えを持っていると、けっして思わないでください。その時々で、いちばん適切だとあなたが思う答えは、あなたの頭の中にもありません。しかもその答えも、いまと1時間後では違います。悩むこと、迷うことを止めないでください。それを止めること、いつ慢になつてしまつ。不幸はそこから生じます」。そのメモの中には、「あまのじゃく」を装いながらも、律儀で、もしかすると長崎人以上にお人好しな池田先生がいるようでした。

若いあなたへのメッセージ



するとは限りませんが、中央省庁とのさまたまなやりとりで、相手にその点を気付いてもらうことが、僕が長崎の中にある人間として、仕事ができることだと思っています。」

Campus Map

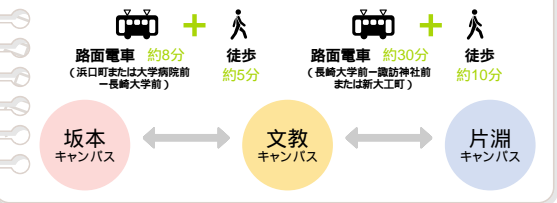
長崎市街地に3つのキャンパスがある長崎大学。
離れているキャンパス間の移動は、
バイクや路面電車を利用する学生が多いです。
バイクの運転は十分に気をつけましょう。

チトセビア
食料品から生活雑貨、衣料品まで揃った店舗や長崎市役所(支所)、郵便局、銀行、図書室、公民館、ホールなどが揃った施設。文教キャンパスから徒歩8~10分。

文教キャンパス
教育学部・薬学部
工学部・環境科学部
水産学部

坂本キャンパス
医学部・歯学部

片淵キャンパス
経済学部



見たことのない信号機?

黄色の矢印は「路面電車だけが進んで良い」の意味。
こちらは、十字路で見かける信号機。青色の矢印は車やバイクは進んで良い。



坂・坂・階段!

坂の街・長崎は、自転車の普及率が極端に低いです。



長崎人 気質

道を尋ねると、わざわざ目的地まで連れて行ってくれる、そんな親切な人が多いといわれる長崎の街。よそから来た人々を快く受け入れる風土は、江戸時代、西洋との窓口として繁栄した歴史に育まれたとも言われています。

～初めての長崎、初めてのひとり暮らしを応援!～

長大学生のための 生活 掲示板

知れば知るほど親しみがわく、長崎ならではの生活環境。
安心・安全、そして有意義な大学生活のために
お役立てください!!

長崎弁ミニミニ講座

よかばい → (いいですよ)
知とつと? → (知ってる?)
やってみんね → (やってみなさい)
～ばってん → (～だけど)
きばる → (頑張る)
きびる → (結ぶ)
～げな → (～だそうだ)
ほがす → (穴を開ける)
やぜか → (面倒くさい)

学生にうれしい生活環境

各キャンパスの周辺はお店や金融機関など都市機能が充実し、便利な生活環境です。文教キャンパスの場合、徒歩2～10分圏内に商店街・スーパー・100円ショップ・ホームセンターなどが揃っています。



路面電車でGO!

長崎市街地を走る路面電車は、どこまで乗っても100円(平成21年4月現在)が魅力。ちなみに、地元の人が単に「電車」と言うときは、たいていは路面電車のこと。県外から来た人は、JRの電車と勘違いして、話がちぐはぐになることもあるので気を付けて。



長崎電気軌道

【PCサイト】<http://www.naga-den.com/>

【携帯サイト】<http://www.naga-den.com/navinet/>

長崎の四季を彩る祭やイベント

1年を通じてさまざまな催しがある観光地、長崎。キャンパスの外でも、いい思い出をつくろう。

春 ハタ揚げ、長崎帆船まつり

夏 ながさきみなとまつり、ペーロン、精霊流し

秋 長崎くんち

冬 長崎ランタンフェスティバル



体調を崩したときも、あわてない

ひとり暮らしの人など、体調を崩したときはとても心細いもの。医療機関は前もって確認しておきましょう。また、文教キャンパスにある保健・医療推進センターでは、診察を受けたり、医療機関を紹介してもらうこともできます。夜間や休日は、以下のところで医療機関を紹介しています。

救急医療機関案内電話

095-825-8199

長崎市医師会の夜間急患センター

095-820-8699



ちゃんぽん・皿うどんを極める

長崎の食を代表するちゃんぽん・皿うどん。中華料理店・食堂・レストランなど、お店ごとに味が微妙に違うので、食べ比べてみよう



2つの路線バスを乗り分けよう

長崎市内を走る路線バスは「長崎バス」と「長崎県営バス」の2社。それぞれ路線が違います(長崎駅周辺など共通路線も有)。「長崎大学前」や「医学部前」、「大学病院前」のバス停を利用できるのは「長崎バス」。「経済学部前」は県営バスです。



長崎バス



長崎県営バス

長崎バス

【PCサイト】<http://www.nagasaki-bus.co.jp/>

【携帯サイト】<http://www.nagasaki-bus.co.jp/k-tai/>

長崎県営バス

【PC・携帯とも】<http://www.keneibus.jp/>



経済シリーズ

経済・社会のグローバル化を覗いてみよう!

ファースト・グローバル化と東ティモール



2002年5月の独立式典の様子

ティモールとは現地語で東を意味します。ティモール島は中国では宋の時代(960・1279年)から白檀の産地として知られ、古くからユーラシア大陸を巡る交易網に組み込まれていました。イムユル・ウォーラスティンやアンドレ・ガンター・ラングといった有名な歴史研究者たちは、グローバルな世界システムの出現をスペイン人による南北アメリカの征服とともに銀の交易が起ったことに見ています。これに対して、私はティモールの白檀交易が世界最初のグローバル化システムの出現をスペイン人によるバリゼーションにつながったと考えています。コロンブスのアメリカ大陸発見とその後の展開によって、中国やインドそして日本のような長い間技術的な成熟度でヨーロッパを上回っていた国々は、確かに大きな影響を受けました。しかし、アジア太平洋地域では

人類最初のグローバル化は、ユーラシアを舞台にした東西交渉にあった。マゼランによって引き起こされたファースト・グローバル化は、アジア太平洋地域に何をもたらしたのか。今回はジェフリー・C・ガン先生のお話から、「マゼラン革命」要衝の地ティモール島の歴史と新国家東ティモールの現状を覗いてみます。



「マゼラン革命」こそが最も重要な出来事だったのです。ここにティモールも関わってきます。

西回り航路を進んだマゼラン一行のうち、最後の一隻となったエルカノを船長とするビクトリア号は、1522年にティモール島に到達しています。彼らはスペインに帰還後、地球が球体であることのほかに、ユーロッパにティモールに関する最初の情報をもたらしました。白檀が豊富で、人々は精霊信仰のアミストだが好戦的でもあるなどといった知識を伝えたのです。この結果、瞬く間に東回り航路を確保するポルトガルが、マカオをベースにティモールでの白檀交易を独占します。日本の長崎から運び出された銀で手に入れていた広東の絹に代わって、ティ



ティモール島の古地図

モールの白檀はポルトガルにとって利益の上がる交易品になったのです。メキシコから西に進んだスペインが、新大陸の銀をマラで中国産の絹と交換するようになったのも、マゼランのおかげと言えます。こうして世界の海洋はマゼランがもたらした交易を通じて結ばれるようになったのです。17世紀になると、ティモールとその産物の白檀を巡って、オランダ、つまりオランダ東インド会社との間で競争が起り、島の西半分からポルトガル勢力は永久に閉め出されてしまいました。19世紀末には、白檀の森林伐採が進み、これに代わる産業としてイメムからアラビカ種のコーヒー豆が導入されました。今日、東ティモールの大部分の家は、コーヒー豆の栽培で生計を立てています。

1 白檀(びやくたん)
インドネシアから太平洋諸島に分布する香木。日本では仏壇、仏具の材料や線香の原料に使われる。

ユーラシア交渉とクレオール化

ユーロッパとアジアとの学術的な交流の舞台となったのは、中国やインドや日本だけではなく、ティモール島には、1800年代にフランスやイギリスの科学者が訪れ、人類の起源を探る研究をします。最も有名な人物はイギリスの自然科学者アルフレッド・ラッセル・ウォレスです。彼はチャールズ・ダーウィンの協力者であり、ライバルでしたが、生物の分布境界を示す「ウォレス線」の発見で知られています。この境界に隣接するティモール島は、カンガルやユーカリの木に固有種がみられます。「マゼラン革命」は島の人々に新しい植物や食べ物を広めました。とうもろこし、別種のタロイモ、ジャガイモ、トマト、ピーマン、タバコなどです。現在でもとうもろこしは人々の主食です。これらの植物栽培は、中国沿岸部やフィリピン、もしかしたら九州などでも、米の生産が困難な丘陵地や山間に広がりました。こうした地域の人口増加につながったかもしれません。しかし、「マゼラン革命」のもう一つの産物は、ラテンアメリカからインド、中国(マカオ)に至る沿岸地域のクレオール化、つまりその地で生まれて本国を知らない人々が増え文化が混交するといった現象が進んだことです。ティモールにとっても、キリスト教の宣教師によって新しい宗教が伝えられたことが重要な出来事でした。今日の東ティモールがブラジルやモンテネグロなどと、ポルトガル諸国共同体の一員であることがわかるように、この数百年間で作られてきた新しい社会は、ポルトガルや中国やアフ



経済学部
ジェフリー・C・ガン 教授
Geoffrey C. Gunn
メルボルン大学、クイーンズランド大学、モナッシュ大学でアジアの歴史・政治を学ぶ。卒業後、ニュー・サウス・ウェールズ大学(シドニー)、ブルネイ・ダルサラム大学やシンガポール国立大学教員を経て、1994年7月から長崎大学経済学部教授、国際関係論を担当。インドシナ、マカオ、東ティモールなどに関する著作多数。学術誌 Journal of Contemporary Asia の編集委員。



ガン先生の著作の数々。奥は『ファースト・グローバル化』(ユーラシア交渉1500-1800) (Rowman & Littlefield 出版: 米国マサチューセッツ州ランハム、2003年)

東ティモールとマゼラン革命

2002年5月、国連による2年半の暫定統治を経て、21世紀最初の独立国東ティモールが誕生しました。小スンダ列島にあるティモール島の東半分からなるこの小国は、500年にわたる外国からの干渉や支配に耐えてきたのです。16世紀から1975年まではポルトガルの支配、この間第二次世界大戦中の1942年から45年は日本の支配、そして1976年から99年まではインドネシアの支配下にありました。東ティモール民主共和国としての独立は、こうした苦難の歴史を経て成し遂げられたのです。

リカやインドの血が混ざった社会で、人々はいく分クレオール化されたポルトガル語を話しているのです。

2 ウォレス線
生物の分布境界線として最初に発見された。カリマンタン島とスマタラ島の間を通り、西側はトラなどが生息する東洋区、東側はカンガルなどが生息するオーストラリア区に分類される。

3 クレオール化
クレオールとは、元来はフランスの植民地生まれの子どものこと、そこから植民地で生まれた人・もの・言語・文化などは、総称してクレオールと呼ばれるようになった。それらさまざまな社会構成要素の混交現象をクレオール化と呼ぶ。

日本との政治的・経済的關係

国連暫定政府は、人口の三分の一が惨殺されるような圧政から東ティモールの人々を救いました。しかし、人々は今日の世界のグローバルゼーションからは取り残されたままです。こうした中、ポルトガルやオーストラリアのほかに、日本は開発援助の最大の貢献国となっています。とくに、電力や水道供給、首都ディリの港湾整備、資本提供などで援助を行っています。NGO（民間）による支援組織（ヤボランディアの団体）も常時活動しています。

2002年2月、日本政府は東ティモールに自衛隊精鋭の工兵大隊550名を派遣しました。しかし、すでに平和が回復してからの派遣は、日本の納税者に多額の負担



収穫したとうもろこしを運ぶ少年



平地部の農耕には、トラクターの代わりに水牛を使う



PKO 当時の自衛隊機



チョンカで遊ぶ少女。チョンカはアフリカ・モザンビークに起源をもつ、石を使ったゲーム

を強いるだけとなり、問題視する声もありました。もうと言えば、そうした資金はJICA（国際協力機構）のような国際的な協力機関や民間のボランティア組織に直接渡した方がよかつたのではないかと考えています。当時東ティモール政府は日本の支援に深く感謝しましたが、市民社会グループは日本のPKO（国連平和維持活動）に抗議し、第二次世界大戦中に人口の約15%が死亡した日本軍の行為に対する謝罪を要求しました。

その後2006年には、大半は浪費されてしまつた外国からの数十億ドルの援助がもたらす正しい成果を巡って反乱軍が蜂起しました。2008年2月にはラモス・ホルタ大統領が反政府勢力に襲撃され、かろうじて一命を取りとめるといった事態がありました。国際社会は1999年に東ティモールを救いましたが、独立後の混乱は現在も続き、雇用や治安の面で人々の社会不安も解消していません。国連の活動で言えば、私は現在日本が議長国である国際平和構築委員会のリストに東ティモールを載せることを主張してきました。今後十数年間は、国連による密接な関与が必要だと思っています。

（訳・編集委員）

外国人居留地と 長崎県のキリスト教関連遺産

近代化遺産とは、日本の近代化を支えた建築物、都市施設や産業施設のことである。長崎県は日本の西端に位置し、日本の中でも特異な近代化がなされた地域であるため、多くの近代化遺産が残されている。これらの建造物を芸術的・技術的に評価し、日本の文化財として保存すると共に、観光資源として活用する必要がある。文化財としての価値、建造物の補修技術、地域活性化への活用などの研究が進められている。



外国人居留地地図¹⁾

南山手伝統的建造物群保存地区

東山手伝統的建造物群保存地区



伝統的建造物群保存地区²⁾



東山手7棟洋館²⁾



大浦・東山手居留地³⁾



どんどん坂
(南山手)



居留地境
(東山手)



東山手12番館
(長崎市旧居留地私学歴史資料館)²⁾



マリア園(南山手)

(1) 長崎外国人居留地

(重要伝統的建造物群保存地区)

長崎外国人居留地の成立

日本の近代化は安政5年(1858)の修好通商条約による、5港の開港と外国人居留地の建設により始まる。長崎には江戸時代から続く出島蘭館と唐人屋敷があったが大浦湾を埋め立てて周辺の畑を造成し、東山手・大浦・下り松・南山手一帯を外国人居留地に設定した。江戸時代の伝統的な都市の中に、近代的な都市計画による西洋風の街区が出現した。産業革命を経た欧米の技術は、外国人居留地から国内に導入され、居留地内に建設された教会は、キリスト教布教の窓口となった。

重要伝統的建造物群保存地区

長崎市の東山手・大浦・南山手地区の旧外国人居留地内には、様々な洋風建築物が残されている。また、居留地時代のままに、地形や道路と共に、石畳、側溝などの土木遺構が残され、日本における初期の居留地の形態が保存されている。そのために、東山手と南山手地区は、平成3年(1991)国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された。伝統的建造物群保存地区とは、文化財保護法で規定された、町並みの重要文化財に相当する地域である。2008年6月全国で83地区が選定されている。

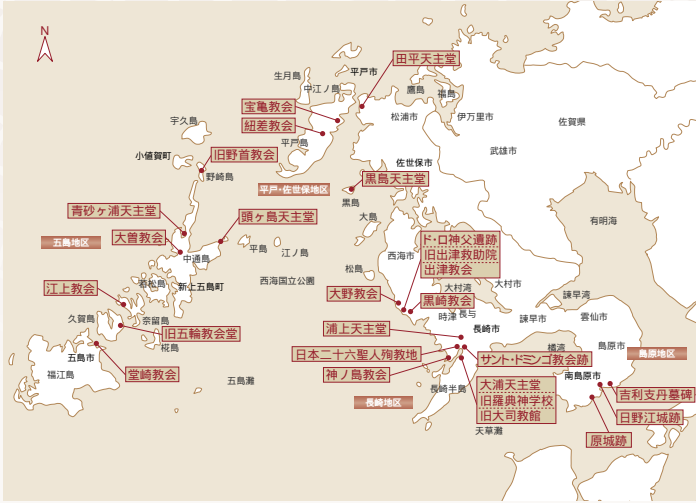
この長崎外国人居留地を研究するために長崎大学附属図書館では、居留地時代の古写真を収集してきた。



工学部教授

岡林 隆敏

Okabayashi Takatoshi



世界遺産構成資産の分布⁴⁾



大浦天主堂



大浦天主堂(古写真)³⁾



旧野首教会⁴⁾



頭ヶ島天主堂⁴⁾



江上教会⁴⁾



旧五輪教会堂⁴⁾

(2) 長崎の教会群と キリスト教関連遺産 (世界遺産暫定登録)

五島のキリスト教会群

元治元年(1864)南山手の外国人居留地の一画に、プチジャン神父は慶長2年(1597)に殉教した26聖人のために、大浦天主堂を建設した。日本に、潜伏信徒がいることが分かり、潜伏信徒が多く住んでいた五島列島ではこれらの信者が復活した。信者達は神父の指導を受け、自分達の力と地元の人材を用いて、五島の浦々の集落に教会を建設した。このような教会は、今でも、五島、平戸、長崎、天草などで見ることが出来る。日本人大工棟梁鉄川与助によるものや、地方固有の材料を用いた木造、煉瓦造、石造、コンクリート造など、明治初期から昭和初期にかけての変化に富んだ教会建築群を見ることが出来る。

世界遺産登録に向けて

平成12年(2000)8月、建築修復学会五島(奈留)大会では五島周辺の教会群を「世界遺産にするための運動をすることを決めた」。世界遺産は、昭和47年(1972)にユネスコ総会で採択された「世界遺産条約」に基づき、世界遺産リストに登録された、優れた自然・景観・遺跡などである。長崎県では①五島周辺の教会群②長崎市のキリスト教関連遺産③島原の乱に関する遺跡などを構成資産として、長崎の教会群とキリスト教関連遺産の名称で提案し、平成19年(2007)日本の暫定リストに登録されている。平成21年1月現在、日本の世界遺産14件(文化遺産11件、自然遺産3件)、暫定一覧12件である。



長崎市外海地区



出津教会周辺(明治20年頃)⁵⁾



出津教会



旧鰯網工場(ド・コ神父記念館)⁶⁾



出津教会周辺(現在)



ド・コ神父⁶⁾

所 蔵

- 1) 長崎県立長崎図書館
- 2) 長崎市文化財課
- 3) 長崎大学附属図書館
- 4) 長崎県知事公室世界遺産担当
- 5) ド・コ神父記念館
- 6) 長崎市世界遺産推進室



旧救助院⁶⁾



大平作業所跡

(3) 外海地区の重要な文化的景観地区選定に向けて

教会を中心とした外海地区の近代化

長崎市外海地区は、地図に示したように日本本土の最西端にあり、江戸時代には弾圧されたキリスト教信者の多くがここから船で五島列島に移住した。慶応元年(1865)に、ブチジャン神父が出津(旧外海町出津)に、現長崎市を訪問し、キリスト教信者が復活した。明治12年(1879)、マルコム・ド・コ神父が外海地区を担当することになった。フランスの貴族であったド・コ神父は、外海地区の住民の貧しさをみて、宗教に根ざした教育・福祉・地域振興を図った。出津教会(明治15年・1882)、救助院(明治16年)、鰯網工場、保育所(明治18年)を建設し、小麦、綿、茶を栽培するため農場を開墾した。現在これら、教会を中心とした集落が、特異な文化的景観として残されている。

重要な文化的景観地区選定に向けて

近年の都市化の進展に伴って、減少する日本固有の美しい山村・農村風景を保存するために文化財保護法の中に、「重要な文化的景観」の保護が規定された。平成21年(2009)2月現在で、日本を代表する棚田・里山・水辺景観が、全国で15件選定されている。長崎市では外海地区の「重要な文化的景観」選定に向けて、県内大学と共に調査・研究を行っている。ド・コ神父がフランスの近代農業技術を導入し、農村経営を行い、マカロ「や綿織物などを外国人居留地で販売した。その結果、写真のような海岸から山頂に続く西彼杵半島の斜面地に、教会を中心とする集落が形成された。出津教会、救助院、旧鰯網工場(ド・コ神父記念館)、大平作業所や当時の農業遺構などが、日本における特異な景観を形成している。



「科学技術への顕著な貢献2008 (ナイスステップな研究者)」に選定



嶋田雅暁教授

熱帯医学研究所環境医学部門生態疫学分野の嶋田雅暁教授は、ケアを拠点として感染症対策にかかわる国際研究交流を推進したとして、12月25日、文部科学省科学技術政策研究所(NISTEP)の「ナイスステップな研究者」(プロジェクト・国際研究交流部門)に選定されました。

「ナイスステップな研究者」は、文部科学省科学技術政策研究所が平成17年より、科学技術に関する顕著な業績の中から、特に科学技術政策上注目すべき業績を上げた方々を選定しているものです。

なお、科学技術政策研究所ホームページ <http://www.nistep.go.jp/index-j.html> にプレス発表資料が掲載されています。



ケニアで活動中の嶋田教授

NISTEP (National Institute of Science and Technology Policy)

「エコポスター2008」表彰式

1月26日、学長室において環境委員会が学内公募・本学の児童・生徒・学生及び教職員が対象とした環境対策等啓発キャンペーンポスター「エコポスター2008」の優秀作品表彰式を挙行了しました。応募作品総数は、「ウォーム・ピズ部門」「クール・ピズ部門」「CO₂削減・温暖化防止部門」の3部門合わせて、234点。

審査の結果、最優秀賞は、「ウォーム・ピズ部門」が教育学部附属小学校5年菅野いさなさんの作品、「クール・ピズ部門」が同小2年山口諒一郎君の作品、「CO₂削減・温暖化防止部門」が同小4年新屋京平君の



受賞者との記念撮影



田川昇太君、西村晃君が協同制作した作品に決定しました。また、「エコポスター2008大賞」には、新屋君らの作品が選ばれました。

表彰式では、田井村環境委員会委員長、演理事 嘉松附属小学校副校長、古野同小教頭及び保護者らの列席のもと、片峰学長から受賞者へ賞状及び副賞が授与されました。

片峰学長から環境問題について想像することは大事。皆さんもいろんなことを想像し、夢を持ち続けよう」と祝辞があり、「エコポスター2008大賞」の新屋君は、「地球温暖化を人々の力で無くして行こう」と思った」と作品への思いを述べるなど、希望にあふれる受賞者の声が聞かれました。

第33回 長崎大学駅伝大会を実施

1月24日、文教キャンパス内において今年で33回目となる毎年恒例の長崎大学駅伝大会を実施し、雪が舞う寒空の下、男女合わせて63名の学生が参加しました。

被り物やメイクをして参加するチームもある中、各チームとも元気に真冬のキャンパスを駆け抜け、激しい優勝争いを繰り広げました。上位の結果は、次のとおりです。

男子の部(1・5キロ×7人)
 ・優勝 医学部陸上部 ・準優勝 水泳部
 女子の部(1・5キロ×5人)
 ・優勝 医学部陸上部 ・準優勝 水泳部



男女とも優勝の医学部陸上部

学内合同企業説明会を開催

2010年春卒業及び修了予定者を対象とした学内合同企業説明会を、補助体育館において、1月23日、24日、2月19日、20日に開催しました。

厳しい就職状況が続く中、より多くの企業の採用情報を直接、人事担当者から聞くことができる場として設けたもので、4日間で220社もの企業にブースを設置していただきました。

訪れた学生は721人。スーツを身にまとい、参加企業のデータなどを記載した冊子を片手に各企業のブースを熱心に回りました。今後の進路を考えるうえで、たいへん有意義な時間を過ごしたようです。



企業説明会の様子



ウォーム・ピズ部門最優秀賞



CO₂削減・温暖化防止部門最優秀賞



クール・ピズ部門最優秀賞

前号(第26号)の記事に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

2ページ本文下段および写真
 誤「安永峻五教授」正「安永峻五教授」
 2ページ下段
 誤「江上不二男先生」正「江上不二夫先生」
 6ページ地図中の国名
 誤「コロンビア」正「セルビア」および「モンテネグロ」

Bauduin Collection

Photograph Collection of Japan in Bakumatsu-Meiji Period

ボードイン・コレクションとは、幕末・明治に西洋医学の指導者として来日したオランダ人のアントニウス・ボードインが、オランダ領事であったその弟アルベルト・ボードインと協力し、日本滞在中に撮影および収集した古写真アルバムです。
(長崎大学附属図書館所蔵)

ネット上でも閲覧できます。
日本古写真アルバムボードイン・コレクション
<http://oldphoto.lb.nagasaki-u.ac.jp/bauduin/>

幕末・明治を知る西洋の男たち

1

経済学部教授
柴多 一雄
Shibata Kazuo

礼装のボードイン博士

長崎大学附属図書館は一昨年、長崎大学医学部の前身である養生所(のちに精得館と改称)の第二代教頭であったアントニウス・ボードインとその弟アルベルト・ボードインが撮影、収集した世界有数の日本古写真コレクション、ボードイン・コレクションをこ子孫から譲り受けた。

ボードイン兄弟の兄アントニウス・ボードインは、一八二〇年にオランダのドルトレヒトで生まれた。ユトレヒト陸軍軍医学校とグロニンゲン大学で医学を学び、卒業後はユトレヒト陸軍軍医学校で教官を勤めた。このときボードインは指導教授であったドンデルストともに生理学教科書を著したが、養生所の初代教頭ボンベはこの教え子で、その教科書を養生所の講義に用いていた。文久二年(一八六二)秋、ボンベの後任として来日したボードインは、日本人学生にオランダ医学を教えるとともに治療にも従事した。眼科学に造詣が深かったボードインは養生所内に新しく眼科手術室を設け、物理学、化学などの基礎科学を充実させるため分析窮理所を建設した。また写真にも興味を持ち、みずからス

タジオを作つて訪問した人々を撮影したり、長崎内外の風景を撮影したほか、ベアトや上野彦馬といった職業写真家の撮影した写真を収集した。

長崎での五年の任期を終えたボードインは、教え子の緒方惟準(緒方洪庵の次男)らを伴つてオランダに帰国したが、ボードインの提言によつて幕府が本格的な医学校の建設計画を進めていたため慶応四年(一八六八)再び来日した。

しかし、幕府が崩壊して医学校建設計画が頓挫したため、教え子の緒方惟準を院長として設立された大阪の仮病院現大阪大学医学部に医師兼教頭として勤務することになり、刺客に襲われた大村益次郎の治療などにあたつた。

一方、明治政府はオランダ医学にかつてドイツ医学の採用を決定し、大学東校現東京大学医学部にドイツ人医師を招聘していたが、普仏戦争の影響で来日が遅れたため、任期を終えて帰国しようとしていたボードインに講義を依頼し、ボードインは二カ月間、大学東校で講義を行った。この間、医学校と病院の予定地

とされていた上野の森を視察したボードインは、豊かな自然が失われることを危惧して公園とするよつに進言し、現在の公園が誕生することになった。上野公園にはその業績を顕彰するボードインの銅像が建てられている。

明治三年(一八七〇)にオランダに帰国したボードインは、一八八四年オランダ陸軍を退役し、翌年ハーグで没した。六四歳であった。

古写真データ

目録番号: 6250
撮影者: A. F. ボードイン
アルバム名: ボードインコレクション(2)
年代: 1865
色彩: モノクロ
形状: 128x167
整理番号: 122 46 0
キーワード: ボードインコレクション



オランダ陸軍3等医学将校の軍服に身を包んだボードイン博士。カピタンハウスと呼ばれた出島のオランダ商館長の邸宅と思われる部屋で撮影されたようだ。

Anthonius Franciscus Bauduin(1820 ~ 1885)

編集後記

大学の重要な役目である「教育」と「研究」は、車の両輪に例えられます。今回の特集では、一方の「教育」について、片峰学長と寺田教育長に対談をしていただきました。大学で何を学ぶべきかが語られており、高校生はもちろん、新入生、在学生にとっても大いに参考になると思います。同時に、教員には「志」をもった多くの学生が、長崎大学に集うための努力が求められており、身の引き締まる思いがいたします。

「人クローズアップ」は、医学部の池田正行教授です。その多才で魅力的なお人柄は、今回の誌面ではお伝えできておりません。興味を持たれた方は、池田先生のホームページ <http://square.umin.ac.jp/massie-tmd> もご覧ください。

今回から、「長崎県の近代化遺産シリーズ」がはじまりました。また、古写真も「ボードイン・コレクション」と、新しいシリーズに替わりました。お楽しみください。(原田哲夫)

[編集・発行]

長崎大学広報企画委員会
(広報誌企画・編集専門部会)

[部会長]

原田 哲夫 (工学部教授)

[委員]

堀内 伊吹 (教育学部教授)
吉田 高文 (経済学部教授)
高橋 和雄 (工学部教授)
池田 幸恵 (環境科学部准教授)
小林 信之 (医歯薬学総合研究科教授)
堀尾 政博 (熱帯医学研究所教授)
佐々木 均 (医学部・歯学部附属病院教授)
光石 恭典 (総務部総務課長)

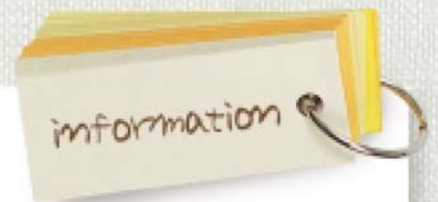
TEL. 095-819-2018

FAX. 095-819-2024

(E-mail)

www_admin@ml.nagasaki-u.ac.jp

[発行日] 2009年4月1日



〈平成21年度〉長崎大学公開講座のご案内

長崎大学では、平成21年度に下記の公開講座を開講する予定です。

市民の皆さまの参加をお待ちしております。

なお、申込方法や申込期限などの詳細については、各連絡先へお問い合わせください。

本学のホームページ (<http://www.nagasaki-u.ac.jp/>) やポスターなどでもお知らせします。

講座名	開催予定日	受講対象者/募集人数	受講料	連絡先 市外局番(095)
附属薬用植物園における薬用植物 ～漢方に用いられる生薬と民間薬～	5/9 (全1回)	一般市民 30人	無料	医歯薬学総合研究科学術協力課 企画調査係 TEL. 819-7195
連想法を用いた授業評価研究	5/13～2/10 (全10回)	教員および社会教育関係職員など 10人	無料	生涯学習教育研究センター TEL. 819-2233
地域づくりと公民館 ～地域づくりの拠点としての公民館と大学生涯学習との連携～	5/20～2/17 (全10回)	地域づくり関係者、行政職員、社会教育関係職員、生涯学習担当学校関係者など 20人	無料	生涯学習教育研究センター TEL. 819-2233
現代経営： 世界同時不況下の経営課題	5/15～6/26 (全7回)	一般市民 30人	6,200円	経済学部総務係 TEL. 820-6304
心とからだのシェイプアップ	5/15～9/11 (全5回)	一般市民 50人	6,200円	心の教育総合支援センター TEL. 819-2256
比田勝町(対馬市)生涯学習ひろばセミナー ～テレビ会議システムを活用した、地域づくりと大学生涯学習との連携～	5/24～2/28 (全10回)	地域づくり関係者、行政職員、社会教育関係職員、生涯学習担当学校関係者など 20人	無料	生涯学習教育研究センター TEL. 819-2233
社会科学のフロンティア ～金融、会計、経営の世界最前線～	6/6～6/7 (全2回)	一般市民、学生 100人	無料	経済学部総務係 TEL. 820-6304
これからの福祉・環境・エネルギーを考える ～機械工学からのアプローチ～	6/6～6/20 (全3回)	一般市民 40人	無料	工学部機械システム工学科 TEL. 819-2533
生き生き健康ライフ講座Ⅹ	7/18, 7/25 (全2回)	一般市民、医師、看護師、栄養士、保健師 100人	無料	大学病院生活習慣病予防診療部 TEL. 819-7550
遺伝学講座Ⅶ ～遺伝について楽しく学ぼう～	8/19 (全1回)	小学4、5、6年生 30人	無料	医歯薬学総合研究科学術協力課企画調査係 TEL. 819-7195
水産講座	未定 (全1回)	水産業関係者 30～40人	無料	水産学部総務係 TEL. 819-2793

下村脩名誉博士 顕彰記念館オープン

2008年ノーベル化学賞を受賞された下村脩名誉博士の顕彰記念館が3月22日薬学部オープンしました。下村脩名誉博士のこれまでのご功績に関するパネルなどを展示しておりますので、ぜひお立ち寄りください。

(見学可能時間は平日10:00～17:00)



表紙
について

医学部保健学科
玄関ホールの壁画

(昭和60年竣工)

医療技術短期大学部(医学部保健学科前身)時代の壁画。土台の扇形は、鎖国下の唯一の貿易港で西洋文明の流入および海外交流の場であった長崎港の「出島」。鶴の港と称した長崎港にちなみ、当時の3学科(看護、理学療法、作業療法)をあらわす3羽の鶴が飛び立つ姿を描いている。



読者の皆様のご意見・ご要望をもとに、より充実したCHOHOを目指します。
大変お手数ですが以下のアンケートにお答え下さい。
ご回答はFAX(095-819-2024)でお願いします。
なお、E-mail(www_admin@ml.nagasaki-u.ac.jp)でも受け付けております。

[年齢] 歳 [性別] 男・女

1 今回よかったコーナーに✓をつけて下さい。(複数回答可)

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 【特集/対談】新たな時代を切り拓く`教育、 | <input type="checkbox"/> 【長崎県の近代化遺産シリーズ1】 |
| <input type="checkbox"/> 【人クローズアップ】医学部 池田正行教授 | 外国人居留地と長崎県のキリスト教関連遺産 |
| <input type="checkbox"/> 【Campus Map/長大生のための生活掲示板】 | <input type="checkbox"/> 【長大ニュース】 |
| <input type="checkbox"/> 【経済シリーズ】経済・社会のグローバル化を覗いてみよう! | <input type="checkbox"/> 【ボードイン・コレクション】 |
| ③ファースト・グローバル化と東ティモール | 幕末・明治を知る西洋の男たち① 礼装のボードイン博士 |
| | <input type="checkbox"/> 【インフォメーション】・【編集後記】 |

2 今回の内容はどうか? ✓をつけて下さい。

- やさしい ふつう 少しむずかしい むずかしい わからない / おもしろい ふつう つまらない

◎ご意見・ご感想をお書き下さい。.....

3 今後読んでみたいテーマなどありましたらご記入下さい。

ご自由にお書き下さい。

4 CHOHO をどこでご覧になりましたか?

5 その他、大学に対するご意見・ご要望がありましたらお聞かせ下さい。

ご自由にお書き下さい。

ご協力ありがとうございました。

長崎大学広報企画委員会(広報誌企画・編集専門部会)
〒852-8521 長崎市文教町1番14号 TEL095-819-2018
(E-mail)www_admin@ml.nagasaki-u.ac.jp